

## 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	鳥屋野交通公園		
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和3年3月31日
新潟市主管課	中央区役所建設課		
所在地	中央区女池南3丁目6番4号		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	敷地 14,000m <sup>2</sup> (全体) ゴーカート, 蒸気機関車・消防自動車・路線バスの展示 など		

施設設置目的
ゴーカート等を利用し交通ルールを学べる施設及び交通公園として設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
(1)新潟市都市公園条例(以下「条例」という。)に基づき, 都市公園の健全な発達を図り, 公共の福祉の増進に資する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに, 住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し, 安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき, 個人情報の保護を徹底するとともに, 業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し, 実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	提供サービスの情報発信	市報等を活用した情報発信	HPに情報掲載(ゴーカート情報、各種イベント告知)、市報に交通公園フェスタ告知	B	目標を達成した
	施設利用度	年間利用台数 46,000回以上	43,327回	B	コロナウイルスの影響があったが、11月までは前年以上で推移していた
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業を2回以上実施	ニビイ会員対象のゴーカート乗車クーポン券対応、ドリームカー運行、とやの交通公園フェスタ(雨天中止)、自動販売機の設置、ウエルカムフラワールの設置、ストライダレンタルサービスの実施、全国交通安全運動PR、ふわふわバス、ガチャガチャの設置	A	8種類の事業を実施し、施設の活性化に寄与した
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望については7営業日以内に回答	回答を求められる苦情・要望なし	B	目標を達成した
財 務	利用1台あたりのコスト削減	利用1台あたりコストを300円以下	275.4円/人	A	鳥屋野運動公園との一体管理のメリットを活かし、コスト上限目標を達成した
	本市の収入	ゴーカート使用料600万円以上	5,530,720円	C	コロナウイルスの影響はあったが、未達だった
業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	人身事故 補償を伴う事故発生件数0件	事故発生なし	B	目標を達成した
	指定管理者制度の理解	公の施設の管理を行うにあたり必要と思われる研修の受講者数 年1人1回以上	施設業務掌握研修、接遇・マナー研修	B	目標を達成した
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書に定める基準に基づき、施設管理業務を実施	B	目標を達成した
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	各種研修の実施件数 年3回以上(交通指導等)	ハラスメント研修、救急対応研修、防犯・防災・危機管理研修など各種実施	B	目標を達成した

**【評価基準】**

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていない)

**指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)**

- ・ゴーカートについては、コロナウイルスの影響で目標には届かなかったものの、猛暑や台風、大雨の影響がありながらも、前年を上回る利用があった。
- ・コロナウイルスの影響で実施できなかった、「ゴーカート春休み毎日運行」と「ゴーカートとふわふわバスのセットチケット」は、次年度以降の実施とし、ゴーカートの利用者増を図りたい。
- ・猛暑対策として、ゴーカート乗り場にミストシャワーを導入したが、大変好評であった。
- ・今年度もボランティア団体に協力を依頼し、展示車両の清掃、整備をしていただき、コスト削減につなげた。

**所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )**

施設の管理運営は業務基準等に基づき適正に実施され、施設の維持と利用者へのサービスに努めており、良好と評価できる。また施設の維持管理や職員の研修受講、自主事業の実施等についても、協定書や事業計画書に基づき、適正に実施されており、良好と評価できる。  
しかしながら、使用料収入については、評価指標を達成できなかったため、今後は既存とは異なった情報発信の仕方の検討を行い、積極的な情報発信や自主事業の開催等により、施設自体の更なる周知、知名度向上を図り、使用料収入の増加、評価指標達成に向けたより一層の取り組みを期待する。